

ビジネスアイディアの概要

空港のバードストライクを起点に、偵察ドローン等、浮遊物の自動検出システムとレーザー照射によるデバイスを組み合わせたソリューションを開発・提供します。自社開発のビジョンAIモデルによりリアルタイムで対象飛行体を識別・追跡・威嚇します。コア技術は、すべての観測・照射データをクラウドに蓄積し、継続的な強化学習によってモデルの精度を自動向上させることです。「使うほど賢くなるSaaS型プラットフォーム」として、データ資産とモデルが自社の強みで、取得データを販売・提供するビジネスを行います。

ビジネスアイディアを事業化するための課題

- レーザー照射が飛行体（国内の野鳥など）の撃退に最も有効であるかの検証
 - └ 種類・距離・照射出力ごとに、回避行動の有無と持続性を検証する必要がある。
- ファーストカスタマー獲得に向けた市場調査
 - └ 空港、農家、ソーラーパネル施設運営者、漁業関係者などへのヒアリングとニーズ検証。
- AIによる鳥検出・自動追尾制御を活用したプロトタイプの実作
 - └ 実環境での継続運用に耐えるハード・ソフト統合型AIモデルの完成が必要。

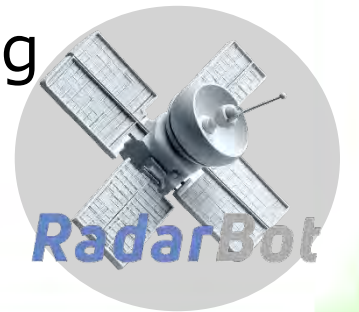


事業化の見通し

レーザーによる非接触型の撃退手段が、空港などの広範囲で長期的に鳥害対策に有効であることをフィールドテストで確認していく。また、飛行体（空飛ぶ車・ドローン物流・農業・畜産・再エネ施設など）複数分野で年間数十億円規模の市場があることを調査を通じて把握していく。鳥と航空機を自動で検出するAIモデルの開発は完了しており、今後はクラウド連携やハードウェア連携による行動最適化（強化学習）や、複数台による運用実績の蓄積を進め、事業化に向けてSaaS型の提供体制を構築し、空飛ぶ車・ドローン輸送事業者に安全飛行ルート設計や衝突回避AIのためのデータ販売を体制を構築する。

事業者情報

山崎 光 CEO
川村 健 3D modeler
Rohit Mishra Deep learning



ビジネスアイディア概要図等

